

## 2 基本理念

市川の文学顕彰の現状と課題から、以下のような文学館が望まれる。

### 2 - 1 基本理念

- 1 市川の文学を継承し、まちの魅力を再発見できる文学館
  - ・市川ゆかりの文学作品や活動は、市民共有の貴重な文化的資産であり、ここにすればそれらを知ることができる文学館であること。
  - ・そのためには、市川の文学関連資料が網羅され、市民が気軽に触れることができる文学館であること。
  - ・また、文学関連資料を通して、市川のまちの魅力を再発見できる文学館であること。
  
- 2 あらたな「まちの文化」を創造する文学館
  - ・過去の作品を継承するだけでなく、それらを通じて、学習活動や新たな文化活動ができる文学館であること。
  - ・文学館の存在自身が、市川の「まちの文化」の核となる施設であること。
  
- 3 だれもが親しめる文学館
  - ・文学に関心ある人が、集い、交流しあい、新たな文芸活動を生み出せる場所であること。
  - ・すべての年齢層の人が、文学を身近な存在に感じ、楽しむことができる場所であること。
  - ・市民はもちろん、市外から訪れる人にも、楽しむことができる場所であること。
  - ・障害のある人、日本語を母語としない人などにも、開かれたバリアフリーな空間であること。
  
- 4 市民と協働でつくりあげる文学館
  - ・市民や市内在住の文学者、関連団体とともに活動を展開する、開かれた文学館であること。
  - ・行政として果たす責務を認識し、十分な人的組織を有する文学館であること。
  
- 5 全国に発信できる特色ある文学館
  - ・市川の文芸風土の特性を打ち出し、市川の魅力を市内外にアピールできる文学館であること。
  - ・狭義の文学にとどまらず、映画、演劇、美術など、他の芸術分野も視野に入れた文学館であること。
  - ・市内外の類縁機関との連携を図り、街かどミュージアムのコア施設として、全国にネットワークを結ぶ文学館であること。